

新型インフルエンザワクチン接種のスケジュール と対象患者について

2009年11月

医療法人社団 平沼クリニック

今回の新型インフルエンザにつきましては、感染力が強いものの、多くの感染者は軽症のまま回復しています。また、抗インフルエンザウイルス薬の治療が有効であるとされています。しかしながら、基礎疾患を有する方や妊婦の方などが重症化する可能性が高いこと、国民の大多数に免疫がないことから、季節性のインフルエンザの感染者を大きく上回る感染者が発生することが懸念されています。このため、今回の新型インフルエンザに対する予防接種につきましては、死亡者や重症者の発生をできる限り減らすこと及びそのために必要な医療を確保することを目的としています。

1. ワクチン接種はワクチンの納入があってから、随時接種します。ワクチンが納入がされましたら、ご案内いたしますので、それまでお待ち下さい。また十分なワクチン数が供給されるかは、今の所全く不明です。接種は予約制です。
2. 当院にかかりつけの方は、ご自身が最優先患者か、あるいは、最優先ではないが基礎疾患を有する患者か、どの接種順位になるのか、受診時に主治医にご確認して下さい（申し訳ございませんが、当院では妊婦の接種はできませんので、かかりつけの産婦人科の先生にご相談下さい）。

新型インフルエンザ ワクチンの接種スケジュール

●医療従事者

10月22日～



●基礎疾患のある方のうち、最優先対象の方
(最優先対象規準に当てはまる方)

11月16日～

●妊娠している方

(入院患者は11月5日～)



●基礎疾患のある方のうち、最優先対象外の方

12月上旬～



●小児：1歳～小学校3年生（基礎疾患のある方以外）

12月後半～



●1歳未満の小児の保護者

1月前半～

●身体上の理由で予防接種ができない方の保護者



●小学校4～6年生、中学生、高校生年齢相当の方

1月後半～

●65歳以上の高齢者

新型インフルエンザ ワクチン接種の手順

ワクチン接種のスケジュールと接種場所の確認



ワクチン接種に必要な提示書類の用意



ワクチン接種の予約



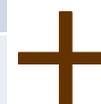
ワクチン接種の実施

※ワクチン接種後は「予防接種済証」が交付されます。母子手帳のある方は、そこの貼付して下さい。この書類は忘れずに保管し、2回目の接種の際には持参して下さい。

新型インフルエンザ ワクチン接種に必要な費用と書類

費用：2回接種の場合、1回目3,600円、2回目2,550円です。ただし、1回目と異なる医療機関で2回目を接種する場合には2回目も3,600円。

優先接種対象者	優先接種対象者の確認書類	住所確認書類
基礎疾患を有する方	優先接種証明書(かかりつけ医での接種の場合には不要)	各種健康保険被保険者証、外国籍の方は外国人登録証 ※その他住民票でも可
妊婦	母子健康手帳	
1歳から小学校3年生	母子健康手帳	
1歳未満の小児の保護者	母子健康手帳	
優先接種対象者の内、身体上の理由で予防接種ができない方の保護者	優先接種証明書(かかりつけ医での接種の場合には不要)	
小学校4年生から高校生	住所を確認する書類で、年齢確認ができれば特に不要	
65歳以上の方		



基礎疾患（9分類）と最優先対象者の適応基準

基礎疾患の分類	最優先疾患の基準
1. 慢性呼吸器疾患	<ul style="list-style-type: none"> ○気管支喘息またはCOPD(慢性閉塞性肺疾患)で通院中の患者 ○肺結核、気管支拡張症などの呼吸障害により、平地でも健常者並みに歩けない患者など
2. 慢性心疾患 (高血圧を除く)	<ul style="list-style-type: none"> ○心不全や狭心症などを有し、日常生活で疲労や動悸などを生じる患者
3. 慢性腎疾患	<ul style="list-style-type: none"> ○慢性維持透析患者 ○腎機能障害の末期で、むくみや疲労などの症状が慢性的に出現している患者 ○腎移植後患者 ○腎機能障害が進行し、特に糖尿病や慢性呼吸器疾患、心疾患を合併している患者など
4. 慢性肝疾患 (慢性肝炎は除く)	<ul style="list-style-type: none"> 肝硬変患者で、倦怠感や黄疸、腹水などが見られる患者など
5. 神経・筋疾患	<ul style="list-style-type: none"> ○免疫異常による疾患(多発性硬化症など)を有する患者 ○神経疾患(脊髄損傷、パーキンソン病など)で、呼吸障害などを有している患者など
6. 血液疾患	<ul style="list-style-type: none"> ○白血病・悪性リンパ腫などの治療中の患者、再生不良性貧血の患者、造血幹細胞移植後半年以降の患者など
7. 糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> ○他の疾患を合併している患者、妊婦、幼児～高校生の患者、インスリン療法を必要とする患者など
8. 疾患・治療による免疫抑制	<ul style="list-style-type: none"> ○悪性腫瘍や、関節リウマチ・膠原病、消化器疾患などで免疫抑制薬やステロイドを使用している者 ○副腎皮質ホルモンなどが正常に分泌されない内分泌疾患の患者 ○免疫不全症候群の患者 など
9. 小児慢性疾患	<ul style="list-style-type: none"> ○呼吸器疾患(気管支喘息を含む)、心疾患、腎疾患、神経・筋疾患、血液疾患、代謝性疾患、小児がん、消化器疾患、染色体異常症、重症心身障害児・者など

新型インフルエンザ ワクチンの質問と答え

Q : 何回接種？ ⇒ A : 一部を除き 2 回接種ですが、今後 1 回に変更される可能性もあります。

Q : 効果はどれ位持続？ ⇒ A : 接種後 2 週間～ 5 か月程度

Q : 優先接種者は接種しなければいけないの？ ⇒
A : 義務ではないので、受けなくても結構です。あくまで任意です。

Q : 季節型インフルエンザにも効果ある？ ⇒ A : 効果はありません。

Q : 季節型と新型のワクチンは同時に接種できる？ ⇒
A : 通常は 1 週間程度間隔を空けますが、同時接種も可能です。

Q : 他のワクチン接種との間隔は？ ⇒ A : 以下のとおりです

- ・ 生ワクチン (BCG, ホリタ, 麻疹, 風疹, 水痘, 流行性耳下腺炎) の後は 27 日間
- ・ 不活化ワクチン (DTP, 日本脳炎, インフルエンザ, 肺炎球菌, ヒブ) の後は 6 日間

Q : 妊婦や授乳中の方は？ ⇒ A : 問題ないと考えられています。
(申し訳ございませんが、当クリニックでは妊婦の接種はできません)